

[ 東京大学 2013 年前期 文科 1 ]



関数  $y = x(x-1)(x-3)$  のグラフを  $C$ , 原点  $O$  を通る傾き  $t$  の直線を  $l$  とし,  $C$  と  $l$  が  $O$  以外に  
 共有点をもつとする。  $C$  と  $l$  の共有点を  $O, P, Q$  とし,  $|\overline{OP}|$  と  $|\overline{OQ}|$  の積を  $g(t)$  とおく。ただし,  
 それら共有点の1つが接点である場合には,  $O, P, Q$  のうち2つが一致して, その接点であるとする。  
 関数  $g(t)$  の増減を調べ, その極値を調べよ。



$y = x(x-1)(x-3)$  と  $l: y = tx$  の共有点の  $x$  座標は,

$$x(x-1)(x-3) = tx \Leftrightarrow x(x^2 - 4x + 3 - t) = 0 \text{ から}$$

$O$  以外の共有点をもつための条件は

$$x^2 - 4x + 3 - t = 0 \cdots \textcircled{1} \text{ が } 0 \text{ 以外の実数解をもつことである。}$$

$\textcircled{1}$  が  $x=0$  を重解にもつことはないから,  $\textcircled{1}$  が実数解をもてばよく,

$$t \text{ の範囲は } \frac{D}{4} = 4 - (3-t) \geq 0 \text{ より, } t \geq -1$$

$\textcircled{1}$  の解を  $p, q$  とおくと,  $P(p, tp), Q(q, tq)$  であるから

$$g(t) = OP \cdot OQ$$

$$= |p| \sqrt{1+t^2} \cdot |q| \sqrt{1+t^2}$$

$$= |pq| (1+t^2)$$

$$= |3-t| (1+t^2)$$

ここで,  $h(t) = (3-t)(1+t^2) = -t^3 + 3t^2 - t + 3$  とおく。

$$-1 \leq t \leq 3 \text{ のとき } g(t) = h(t)$$

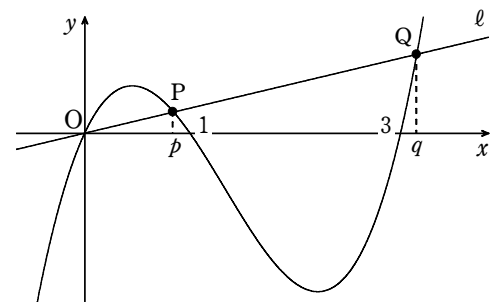
$$t \geq 3 \text{ のとき } g(t) = -h(t)$$

$$\text{また, } h'(t) = -(3t^2 - 6t + 1)$$

$$h'(t) = 0 \text{ の解を } \frac{3-\sqrt{6}}{3} = \alpha, \frac{3+\sqrt{6}}{3} = \beta \text{ とおくと,}$$

$$-1 < \alpha < \beta < 3 \text{ だから}$$

$h(t)$  の増減および,  $g(t)$  の増減は次の表に従う。



$t$	-1	...	$\alpha$	...	$\beta$	...
$h'(t)$		-	0	+	0	-
$h(t)$		↘		↗		↘

$t$	-1	...	$\frac{3-\sqrt{6}}{3}$	...	$\frac{3+\sqrt{6}}{3}$	...	3	...
$g'(t)$		-	0	+	0	-	↘	+
$g(t)$		↘		↗		↘	0	↗

また、 $h(t) = h'(t) \left( \frac{t}{3} - \frac{1}{3} \right) + \frac{4}{3}t + \frac{8}{3}$  であることと  $h'(\alpha) = h'(\beta) = 0$  より

$$h\left(\frac{3 \pm \sqrt{6}}{3}\right) = \frac{4}{3} \cdot \frac{3 \pm \sqrt{6}}{3} + \frac{8}{3} = \frac{36 \pm 4\sqrt{6}}{9} \quad (\text{複号同順})$$

よって、極大値は  $\frac{36+4\sqrt{6}}{9}$ , 極小値は  $\frac{36-4\sqrt{6}}{9}$ , 0